

令和2年8月 市長定例記者会見

2020年7月31日(金)

午後1時30分 開始

【秘書広報課長補佐】 それでは、定刻となりましたので、ただいまから令和2年8月市長定例記者会見を始めます。

本日の会見の進行につきましては、お手元の次第のとおり、最初に市長の挨拶、その後、事業発表を行います。質問につきましては、事業発表についてからお願いしたいと思います。事業発表に係る質問応答終了の後に、次第の3番目、フリーの質疑応答へと進行したいと思っております。

なお、ご質問の際は、お手数ですが、まず挙手をお願いいたします。そしてご自席のマイクのスイッチを入れていただき、ご質問の後はお切りいただきますようお願い申し上げます。

終了は14時30分を予定しております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、市長、よろしくお願いいたします。

【市長】 皆さん、こんにちは。8月の記者会見でございます。よろしくお願いいたします。

福井県で新型コロナウイルス感染者が出ていますけれども、昨日、本部会議、県のほうで開かれまして、新しい県民行動指針Ver. 8というのが出ましたので、それに合わせて私たちももう一回、気持ちを引き締めなければならないというふうに考えているところです。それに合わせて、今日、私ども16時から本部会議を開こうとしておりますので、またよろしくお願いいたします。

それから、今年4回来る予定でしたダイヤモンド・プリンセスの寄港というのが、次、11月6日の予定でしたけれども、ホームページを見ますと中止になったということでありまして、4回もあったのに残念だなという気持ちがありますが、また新たな関係を構築して来ていただけるような努力をしていきたいというふうに考えています。

それから、豪雨の時期になりますので、コロナ対策に合わせて豪雨の複合災害に対応して職員の研修も進めておりますので、その中で対応して、市民の皆さんに安心していただきたいというふうに考えているところです。

いろんなこれからもいいことも悪いこともあると思いますが、頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

【秘書広報課長補佐】 続きまして、事業発表をお願いいたします。

【市長】 本日の事業発表につきましては5件ございます。

1つ目は、令和2年度の長寿者訪問事業についてであります。

高齢者の長寿をお祝いするために、9月15日の老人の日及び9月15日から21日までの老人週間に合わせまして、例年8月下旬から9月下旬にかけて実施してございました長寿者訪

問事業につきまして、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施方法を変更いたします。例年、百寿対象者及び最高齢者は私が、米寿対象者は各地区の民生委員さんが訪問していただいておりますけれども、今年度は訪問を中止し、祝状及び敬老お祝い品を9月中旬から下旬にかけて郵送によりお届けいたします。訪問を心待ちにされていた方もいらっしゃると思いますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のためとなりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

2点目でございますが、令和2年度敦賀市職員採用候補者後期試験の実施についてでございます。

令和2年度敦賀市職員採用候補者後期試験を実施します。今年度は、短大、高校卒業程度の事務職、土木技師及び電機技師を募集します。受付期間は8月14日金曜日から28日金曜日まで。第1次試験は9月20日日曜日、敦賀市役所で行います。第2次試験は10月中旬、最終合格発表は10月下旬を予定しています。職員募集に当たっては、定員の適正化を念頭に、定年退職等による欠員補充、各年度における採用バランス等を考慮し、実施することといたしました。

続きまして、同じく令和2年度敦賀市職員採用候補者の障害者対象の試験の実施についてでございます。

障害者雇用率の向上や障害者の就労支援の推進を目的として、障害のある方を対象とした敦賀市職員採用候補者試験を実施します。受付期間は、同じく9月4日金曜日から18日金曜日まで。第1次試験は10月18日日曜日、敦賀市役所で行います。第2次試験は11月上旬、最終合格発表は11月中旬を予定しております。

続きまして、令和2年度敦賀市職員採用候補者後期試験（医療職等・看護職）の実施についてでございます。

市立敦賀病院職員の令和2年度敦賀市職員採用候補者後期試験を実施します。今回募集する職種は、薬剤師、言語聴覚士、臨床工学技士、診療情報管理士、消化器内視鏡技師、医師事務作業補助者、助産師及び看護師です。受付期間は8月14日金曜日から8月28日金曜日まで。第1次試験は9月20日日曜日に市立敦賀病院で行います。なお、助産師及び看護師を除く医療職等試験のみ、第2次試験を10月中旬に実施します。最終合格発表は10月下旬を予定しております。

最後に、「ふつうの系譜」おかえり展「ふつうの美しさ一京の絵画と敦賀コレクション」というものでございますが、市立博物館では、8月8日より「ふつうの系譜」おかえり展「ふつうの美しさ一京の絵画と敦賀コレクション」を開催します。ぜひこの機会に敦賀コレクションの魅力を感じていただきたいと思います。前期、中期、後期の3部に分かれて実施しますけれども、詳細につきましては別紙資料をご覧くださいと思います。

発表項目は以上です。よろしくお願いいたします。

【秘書広報課長補佐】 それでは、ただいま発表いたしました項目につきまして質問をお受けさせていただきたいと思っております。最初に幹事社さんのほうからお願いいたします。

【記者】 採用試験に関してですけれども、敦賀病院の医療職、看護職も今回採用のお知らせありますが、今回いろいろコロナ禍で、敦賀病院の方も非常に大変だったと思うんですけれども、何か採用の人数を増やしたりだとか、例年と違うようなところというのはあるのでしょうか。

【敦賀病院事務局長】 基本的には、欠員の補充という形を取っておりまして、薬剤師、言語聴覚士、臨床工学技士、それから診療情報管理士、それから助産師、看護師につきましては、前期試験も行ったんですが、まだちょっと足りない部分がございますので、もう一度募集をかけるという形で、消化器内視鏡技師と医師事務作業補助者につきましては今回が初めて募集をするという形となっております。

以上でございます。

【記者】 ありがとうございます。

【秘書広報課長補佐】 ほかに幹事社さん、いかがでしょうか。

それでは、各社お伺いいたします。発表項目につきまして質問がございましたら挙手のほうをお願いいたします。

【記者】 後期試験は例年行っているのでしょうか。

【敦賀病院事務局長】 例年、後期試験も行っております。

【記者】 市の職員さんはいかがですか。

【総務部長】 市の職員につきましても同様でございます。去年と違う点といたしましては、電気技師Bとございますけれども、試験区分の中で。こちらのほうは去年ございませんでした。昨年度は一般事務Bと土木技師Bでございました。

以上です。

【記者】 あわせて、障害者対象の試験というのは、これもいつも別枠で行っているということでしょうか。

【総務部長】 はい、昨年度から実施しております。

【記者】 ありがとうございます。

【秘書広報課長補佐】 ほかにいかがでしょうか。

それでは、次第の3番目でございますフリーの質疑応答へ行きたいと思っております。これも幹事社さんのほうからお願いいたします。

【記者】 市長、冒頭にもおっしゃったんですけれども、コロナのことで、詳しくは16時からの対策本部会議でということなんでしょうけれども、少しずつ感染者が増えていますが、8月から何か敦賀市は新たな対応というのをお考えなのでしょうか。

【市長】 今回の4連休と、その後のお盆が続きますので、何とか市民の皆さんにメッセージを出して、感染に対してのもう一回、気持ちの引き締め等、ご協力もお願いしなくてはいけないというふうに考えておりましたので、RCN等でメッセージを出して市民の皆さんに呼びかけたり、気持ち的に新しい生活様式に慣れてしまうという、今度省いてしまう部分が出てくると思いますので、そういうことのないように定期的に、また改めてそういう発信をしていきたいというふうに考えています。

【記者】 関連してなんですけれども、先ほどおっしゃったように休みの期間があり、今後、夏休みに入って、海水浴場なんか、開設はしなくてもお客さんが見えたりしているような姿もあるんですけれども、そういったところに対する受け止めと、あとは実際、夏休みとか休暇の期間が入って、予想外の動きというのが何かあればというか、何か感じているかということをお伺いしたいんですけれども

【市長】 私たち、海水浴のお客さんについて、どこまでできるかということになりますけれども、一応閉鎖して、できるだけ泳がないでくださいねということを出していますけ

れども、どうしても泳ぎたいという人を止める権利はありませんので、そこはつらいなどいうことを思っています。

その中で、駐車場も閉鎖して、遊泳も禁止しておりますけれども、無理やり泳いで万が一ということがありますから、遊泳区域のブイは一応、松原は浮かべてありますし、また監視員も回るようにしてありますので、万が一の対応は対応で取らなくてはいけないというジレンマを持ちながらやっているところです。

【記者】 あと、海水浴とは別件ですけれども、さっきのところとかぶるかもしれませんが、長寿訪問の中で民生委員さんの訪問も中止されたりとかいうふうなことがあります。今回の長寿訪問、お祝い状を持っていくようなやつは別にして、独居の高齢者の方々への見守りというのにも必要かなと思うんですが、そういったところで民生委員さんの巡回というのはなさっているのか。それと感染症対策というのはどういうふうにはバランスを取っているのかというのを伺いたいんですが。

【市長】 今回の米寿と百寿、最高齢のお祝いについては、独り暮らしじゃなくても、当然ご家族といらっしゃったり施設にいらっしゃる方についても配っていますので、いつもの民生委員さんとは違う、また特別な動きをしている。それをやめましたよということでご理解いただきたいと思います。

実際に民生委員さんの訪問というのは、部長のほうから答えます。

【福祉保健部長】 民生委員さんの訪問につきましては、全て中止というような、行っていないというようなことではございませんで、その地域で民生委員さんが心配な方にはご訪問いただいたり、訪問しなくても電話等で状況を把握しているというようなところで、地域の高齢者の方の状態の把握に努めていただいておりますし、そういった中で、ご心配なことは関係機関、介護機関、医療機関、市役所等につないで対応していただいておりますので、民生委員さん自身も、やはり自分が持って行ってうつしてしまうんじゃないとか、そんなような不安を持ちながら訪問等はしていただいておりますが、市内の高齢者の方、独り暮らしの方が孤立しないような対応に努めていただいております。

【記者】 ありがとうございます。

【秘書広報課長補佐】 ほかによろしいでしょうか。

それでは各社。

【記者】 今年もこの間まで1回戦、2回戦と高校野球で敦賀総合の野球場を使わせていただいたんですけども、私も今年初めてだったんですけども、電光掲示板はいつか直るんですか。

【市長】 電光掲示板がついに壊れてしまいまして、弱ったな、いつ直そうかという話をしています。

【記者】 修理の予定とかはあるんですか。

【市長】 金額がかなり高額だと聞いていますので、どこかの補助をいただきながら直したいと思いますので、その段取りをしたいと思っています。

【記者】 ありがとうございます。

【記者】 コロナの関係なんですけれども、この間の4連休も敦賀市内の観光地に県外ナンバーの車がたくさんありまして、観光を進めるのも両立でバランス取ることが必要だと思うんですけども、今の県内の感染状況、増えている状況を見まして、改めて国が進め

ているGo To キャンペーンとかそういうものは、市長としてどういうふうな思いがあるのか、ありましたらお願いします。

【市長】 今、福井県内で発生しているのは、誰かが来たからなったという感じじゃなくて、むしろ出かけて行ってというのがあるのかなというふうに思います。ですからあまり県外ナンバーがあったからそれに対してという過剰な反応はしないほうがいいんじゃないかと思いますし、当然、県外ナンバーでも敦賀に在住の方もいらっしゃいますので、そういうところはしっかりと冷静に対応していきたいと思いますし、市民の皆様にもそういうふうに考えていただきたいと思っています。

ただ、経済対策としてGo To キャンペーンを打って、4連休ということになれば、たくさん人が動きますし、また、お盆のときもたくさん人が動きますから、動いたときには、そこで感染のリスクというのは高まるだろうと。

ただ、例えば先ほど記者さんのご質問にもありましたけれども、じゃどんな対策を取るかという、お盆に帰ってくるなみたいな話はできないんですよ。墓参りに帰ってこないんだったら代わりに墓掃除をしてあげましょうかと言ったところで、墓参りは理屈であって、やっぱり誰かに会うために帰ってくるだろうと。それを止めることはできないんじゃないかなと。だから、できるだけという言葉のくくりの中でお願いしていくしかないんだらうというふうに考えています。

【記者】 ありがとうございます。

【記者】 今のに関連してなんですけれども、この間、松原海岸でも事故があったように、それも京都から来られた方が犠牲になっているというところもあり、県内のエリアよりも、敦賀を中心に嶺南というのは関西圏から来る方がすごく多いのかなという感じを受けているんですけれども、先ほどRCN等も使われてメッセージを発信していくという話がありましたが、具体的にどのような発信をしてコロナ対策ということを呼びかけていく予定でしょうか。

【市長】 メッセージにつきましては、一つは新しい生活様式に取り組むということをもう一回、何度もですけれどもバージョンを変えて伝えていくというのが一つ必要だと思います。

もう一つは、出水期になりましたので、豪雨災害、大雨による災害とコロナとの複合災害ということも考えられますから、そのことに対してちゃんと私ども準備をしておりますので、その辺を安心して、きちんと一緒に協力して行動してくださいねというメッセージを出すというのが2つ目、必要だと思っています。

もう一つは、ずっと変わらずお願いしていますのは、体調管理、体温検査を毎日していただくということと、自分の行動履歴、誰に会ってどんな話をしたというのをメモでいいので残してほしい。そういうことをすることで、ご自分も守れますし、自分の周りにいる人も守れるんじゃないかということをずっと伝えていって、バージョンを変えてでも伝えていくことが大事だというふうに思います。

【記者】 県民の行動指針というのを県が発表したような指針にのっって再度確認という徹底をしてもらうために、各自が感染対策をこれまで以上にやっていきたいと思いますか。

【市長】 それでいいんです。それでいいですけれども、だんだんと例えばコロナ、一番

最初のときは怖いので、どうしようという動揺もあったと思うんです。でも最近では、大体生活がこのままだと慣れてきていますので、例えばマスクをしていれば大丈夫だろうか、前についたてがあれば大丈夫だろうということを何か安心しているのかなど。今まででしたら、自分らの身の回りにはアルコールはなかったんです。高濃度のアルコールというのは。でも、あって当たり前の生活になっていますので、それは火がつくものなんですよ。ですからそういうことを一応どきどきしながらというか、分かった上で、手を洗うのは少し短くてもいいだろうみたいな、だんだんと慣れてくるんじゃないかなと思いますので、その慣れをできるだけならないように、いろんな形で発信していく必要があると思います。

【記者】 ありがとうございます。

コロナに関連してということなんですけれども、先ほど冒頭にダイヤモンド・プリンセスが11月、中止になったということで、年4回予定されていたものが、これもコロナの影響だと思われませんが、いま一度、結局11月も来なくなったということに対しての市長のお考えというか所感をお聞かせください。

【市長】 ダイヤモンド・プリンセスとか航海する航路というのは、来年じゃなくて再来年のことを今年決めるんですね。ですから、ダイヤモンド・プリンセスが来るようになったというのは、県のお力もありまして、長い年月をかけてやっと開発した航路なんです。ですから、それが一瞬でこういうふうな駄目になってしまうというのは非常につらいですし、それに向けて観光の仕掛けというの組み立てていこうとしている、その計画自体が修正しなくてはいけないということになりますので、もう一回改めてチャレンジして、来ていただけるような仕掛けというのをつくっていきたいというふうに考えています。

【記者】 再度となると、それもまた再来年ぐらいを目掛けてということになるのでしょうか。

【市長】 そうです。再来年のことを目掛けてですし、ダイヤモンド・プリンセスもそうですけれども、もう少し小さいラグジュアリー船とかいうのもありますので、そういうものも含めて、どんなのが敦賀としてマッチングできるのか。また、新幹線の開業に合わせでそういう組み合わせがどうなのかということも検討していきたいと思います。

【記者】 ありがとうございます。

【記者】 ダイヤモンド・プリンセスに関係してなんですけれども、先ほど市長、冒頭の挨拶でも新しい関係とおっしゃいましたけれども、具体的にどういうイメージを指しているのかということと、再度チャレンジしたいということなんですけれども、今回これを受けて、ただ呼ぶじゃなくて、万が一、感染症が出る可能性もある。そういうことも踏まえた対応も必要かと思うんですけれども、今後の対応をどのようにお考えでしょうか。

【市長】 新しい関係というのは、一回、4回の航路が途切れてしまったので新しい関係と申し上げたんですけれども、来年の寄港予定は今のところありませんから、そうすると再来年の航路ということになりますと、もう一回、敦賀の魅力ということを伝えながら来ていただかなくてはいけないと思っていますし、今おっしゃったように、コロナとかそういう感染症のことは、向こうのほうできっちりとされてくるんでしょうけれども、二、三千人規模の乗客というのではなくて、もっと小さい規模の、ラグジュアリー船でしたら500人とかそういう規模だと聞いていますが、その規模の高級な船が来たりとか、そういうこ

とも含めて、いろんな関係の構築をしていきたいと思っています。

新日本海フェリーが50周年を迎えまして、この間、式典をしましたけれども、8月4日が50周年なんですね、ちょうど。ですから、北海道から敦賀まで、私、乗ってこようと思っていたんですけども、こういう状態で行けなくなりましたけれども、船の旅というのは敦賀には欠かせないものですので、そういう意味では、いろんなどころに関係を構築して来ていただきたいと思います。

【記者】 万一発生したときの防疫体制というのは、一義的には国なり県ということになるかもしれませんが、市として何かしら対応をお考えのところはありますか。

【市長】 敦賀市として、万が一発生した場合というのは、今やっているのが医療従事者の宿泊というのをやっていますけれども、それにプラスして濃厚接触者の家族の宿泊ということも敦賀市独自にやっていますので、前も申し上げたと思いますが、1人発生したときに、その人の周りに感染が発生しないように、いかにそれを抑えられるかということをやっていくのが私たちの仕事かなというふうに思います。

【記者】 小型のラグジュアリー船といっても、例えば500人規模のお客さんがいらっしゃるかもしれない。そういう中で、集団感染が発生した場合だと、とても二州の医療圏では賄い切れない。嶺北全体を含めてもどうかなということだと思えるんですけども、その辺のお考えはいかがですか。

【市長】 500人が降りてきて、一遍に500人とも病気になって降りてくるわけじゃなくて、敦賀に滞在する時間は10時間とか8時間とかそういう時間帯ですので、それについてどうしようというのはあまりないんじゃないかと思います。ですから、船に乗船するときにはきちんとそういう対策を取って、乗船中も発熱なんかの検査をしながら敦賀にはたどり着くだろうというふうに思います。

【記者】 分かりました。

あと、先ほど市外からのお客さんはなかなか来たいという人を止めることはできないとおっしゃいましたけれども、メッセージの中で、市民向けに、例えば市外への往来、感染拡大している地域への往来というのをどのように訴えるおつもりでしょうか。

【市長】 県民行動指針のバージョン8にもありますけれども、感染拡大注意地域というのがありますが、そういうところに対しては十分に気をつけて、できれば行ってほしくないですけども、気をつけて行っていただくようにということをお願いするという形になろうかと思います。

【記者】 分かりました。

【記者】 Go To トラベルキャンペーン、やっていて、狙いの一つとしては、実際に旅行していただいて地方にお金を落とす、地方の観光業の方に少しでも経済効果があればというところですけども、いろいろ皆さん感染しないように動いている中で、そういったキャンペーンの効果というのは、市としては実感しているところでしょうか。

【市長】 福井県がやりました県内の旅行ということに対しては、非常に活性化したというふうに感じたんですけども、政府のGo To キャンペーンについては、私ども、いまいちよくつかみ切れていなくて、どの事業所さんがそれに対して該当しているとかか利益を受けているかというのをつかめていませんで、今のところ私にはよく分かりません。

【記者】 県外客が増えているとかいう具体的な数字が今のところあるわけではないとい

うことですか。

【市長】 そうですね。ですから4連休に県外の車がたくさん来たなという認識はありますけれども、例年と比べてそれがより来たのかとか、コロナの状態に対してプラスにどれだけ働いたのかという、そういう指標というのは今私どもは持ってないですし、Go To キャンペーンによってそこでお金が動いたというのも分らないです。

【記者】 ありがとうございます。

【記者】 コロナ関係で、敦賀病院の感染症に対応できる病床数というのは2床で、まだ変わらずでしたか。

【敦賀病院事務局長】 変わっておりません。2床でございます。

【記者】 もし敦賀で2人以上出た場合は、違う病院に行くという形になるのでしょうか。どんな対応になるのか確認があれば。

【市長】 それは福井県全体で考えて、どこに入院するとか、どこで対応するというのは決まっていくと思いますので、必ずしも敦賀で出たから、嶺南で出たからこちらの病院に行かなくてはいけないとか、そこにということではないと思います。

【記者】 ありがとうございます。

【記者】 今日の感染者で敦賀市の方が1人出られたと聞いたんですけれども、このことについて、まず市長、把握はされていたのかなというのものもあるんですが、その辺はいかがでしょうか。

【市長】 先ほど言いましたように16時から本部会議を開きますので、その中で議論する予定なんですけど、第一報だけ届いていまして、私どもが知っているのは、20代の男性で敦賀市の方が出たということを知っています。お1人。

【記者】 ほかに何か分かっていることとかはありますでしょうか。あと、病院については敦賀病院にいらっしゃるのかどうか。

【市長】 先ほどの質問の答えにもつながるんですけれども、どこに入院されるかというのは分らないです。その辺の経緯は分かりませんが、繰り返しになりますが、20代の男性が発症したということを知っています。

【記者】 敦賀では初めてということになりますけれども、その辺の所感はいかがですか。

【市長】 いろんな対応をしながら市民の皆さんに呼びかけてきましたけれども、出てしまったのは非常に残念ですけれども、いずれどこかで出るタイミングはあるんでしょうから、仕方がないというふうに思うしかありませんし、また、感染された方に対して誰だろうとか何でだろうとか、あまりそういう誹謗中傷をせずにいていただきたいというふうに思っています。

【記者】 まだ行動履歴とかその辺の詳細は、まだ伝わっていませんでしょうか。

【市長】 県の2時からの発表の中で分かった範囲が出るとは思いますけれども、私どももそれを見て知るという形になると思います。

【記者】 ありがとうございます。

【記者】 関連してなんですけれども、先日、小浜市長が市立病院でPCRを導入するのを検討するという発言があったんですけれども、敦賀病院でも同じような取組をしようかなという事は今現在で考えておられますか。



【市長】 病院のほうで答えます。

【敦賀病院事務局長】 今、検討中でございます。

【記者】 それは導入に向けて、もう準備を進めているというような考えでよろしいですか。

【敦賀病院事務局長】 導入に向けて検討しているという形でございます。

【記者】 ちなみに、いつ頃になりそうですか。

【敦賀病院事務局長】 ちょっと時期のほうはお答えできませんけれども。

【記者】 県の発表の資料によると、県外、大阪府に2週間以内に滞在していた方ということですが、市長として今回改めて県外、特に感染多発しているような地域に往来することについて、市長として自粛してほしいなというような要請みたいなのは出す思いはありますか。

【市長】 感染が拡大しているところに関しましてはやはり不要不急の往来というのは避けていただきたいなということは発信したいと思っています。

【記者】 ありがとうございます。

【秘書広報課長補佐】 よろしいでしょうか。

それでは、これもちまして8月の市長定例記者会見を終わらせていただきます。

ありがとうございました。

午後2時 10分 終了